

(様式1)

令和元年度 学校評価結果報告書

学校名 須賀川市立第一小学校

【学校評価結果】

学校教育の重点	自己評価の概要	学校関係者評価の概要	判定
「小中一貫教育」須賀川モデルの推進	○外部講師を招聘し、小中教員のTTによる授業研究会、交流研修、中学校教員のサポート授業等、事業を計画通りに進めることができた。また、合同評議員会開催や子どもを育てる会・PTA交流会の充実を図ることで、めざす子どもの姿を共有することができた。	○小中の連携が円滑になってきている。交流研修、サポート授業は大変効果があると考えられるので、引き続き実施した上で一貫教育を充実させてほしい。	A
安全・安心な教育環境の整備	○集団登校とコース別下校を実施するとともに登下校の見守り活動を継続いただいたことで安全への意識が高まっている。 ○不審者出没情報、台風等への対応を一斉メール配信とHP等によって周知し、緊急対応について家庭と共有することができた。	○地域の方々の協力を得ながら安全・安心な登下校が行われている。交通事故、不審者との接触がなかったことは安心であった。	A
特別支援教育の推進	○実態把握を基に個別の支援が必要な児童への対応策を検討し、SC、SSW <sub>r</sub> 等を活用し、具体的指導へと結びつけた。 ○保護者、担任のニーズにより、在校生、新入学予定児への教育相談を進めることができた。	○把握した実態をもとに、個別の支援がきちんとなされている。	B
豊かな心の育成	○命を大切にす授業（特別の教科道徳）を、授業参観で保護者や地域に公開し、学校・家庭がかけがえのない命を守り・育てる意識の共有を図ることができた。 ○登校渋りの児童を全職員で支援する体制を継続するとともに、関係機関等と連携し、不登校へ陥らないように努めた。	○先人の一生からふるさとを学ぶとともに、命の大切さなども学ぶことができている。 ○命を大切にす授業は継続させたい。	A
確かな学力の育成	○授業における「学び合い」と教員同士の互見授業を継続したことにより、授業の充実が図られている。 ○図書ボランティア「コロポックル」の活発な活動により、読書活動をこれまで以上に活性化することができた。	○教員同士も学び合い、さらに授業力を高めてほしい。 ○素晴らしい環境にある図書館を常に子どもたちが活用している姿を臨む。	B
健やかな体の育成	○体育の授業において、学年の実態を踏まえた運動身体づくりプログラムを毎時間位置付け、実践することができた。 ○外遊びを奨励し、多様な外遊びができるよう支援し、運動機会の増加に努めた。 ○肥満傾向児が、前年度と比較しやや増加傾向にある。食育・運動等継続して指導していく必要がある。	○肥満傾向児の減少に向け、授業の内外で楽しく体を動かす機会をじゅうぶんに確保してほしい。 ○肥満傾向児の減少は、家庭の協力も不可欠である。	B
教職員の資質・指導力の向上と働き方の改革	○現職教育授業研究会を通してめざす授業（学び）の姿を共有することができた。 ○服務倫理委員会では、不祥事を自分事としてとらえられるよう、事例を基に学年やブロックで話し合いを行った。 ○風通しのよい職場づくりに努めた。	○コミュニケーションを大切にしていってほしい。互いのスキルを教え合い高め合う職場づくりを望む。 ○働き方改革も必要である。	B
地域とともにある学校づくり	○教育活動の推進状況を学校HPや各種通信等で発信することができた。また、保護者アンケートによる意見の集約を行った。 ○地域の方々に各種ボランティアとして教育活動を積極的に協力いただき、学校と地域の相互交流に努めてきた。 ○学校評議員会を組織し、改善意見を求めることができた。	○子どもは地域の宝である。今後も学校と地域の連携・協力を大切にしてほしい。 ○地元を愛する心を今後も育ててほしい。	A

※判定：A（5点）・B（4点）・C（2点）・D（1点）の4段階評価

【学校評価の結果をふまえた今後の改善策】

- 安全・安心を第一に「命を守る・命の輝きをめざす取組」を継続し、信頼される学校をめざす。
- 地域との連携・協力のもと、ふるさとを学ぶ学習をさらに充実させ、命を大切にするとともに、郷土愛も育てていく。
- 肥満傾向児の減少に向け、運動従事時間の確保と外遊びの奨励に引き続き取り組んでいく。

(様式1)